

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成20年 4月1日 NO. 14

神石高原町父木野 2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

井関団地調整池を予算化

平成20年度

一般会計当初予算

一般会計の当初予算は、97億1千万円で、前年対比1.8%の減となっておりますが、3億5千万円の繰上償還費を含んでいますので実質的には5.4%の減額予算です。合併以来4年連続の右肩下がりの予算編成となっています。

3月定例会は、4日から21日まで開かれ、平成20年度当初予算、19年度各会計補正予算、神石高原町特別会計条例の一部を改正する条例など69議案と議員提出の意見書1件等70案件をそれぞれ原案のとおり可決・承認しました。

歳入面では、自主財源が21億2千万円で構成比率が昨年より9%の増となっておりますが財政調整基金4億円・減債基金3億7,400万円など繰入金が増が要因です。井関地区の総合開発事業がスタートします。調

整池整備工事に4,300万円、関連して第二重松線改良工事に8,500万円が予算化されました。

後期高齢者特別会計が新設され国民健康保険税も見直されました。一般会計と特別会計は別表の通りですが、総計は13.9億1,360万円(13.6%の減)となっています。

平成20年度特別会計当初予算	
国民健康保険特別会計	12億8,390万
内 事業勘定	12億7,800万
内 医療施設勘定	590万
後期高齢者医療特別会計	3億0,000万
老人保健特別会計	2億5,100万
介護保険特別会計	16億3,450万
内 保険事業勘定	16億1,600万
内 介護サービス事業勘定	1,850万
簡易水道事業特別会計	4億5,390万
飲料水供給施設事業特別会計	4,400万
農業集落排水事業特別会計	2億3,620万
分収育林事業特別会計	10万
計	42億0,360万

平成20年度一般会計歳入歳出当初予算

総額 97億1,000万円

10.1% 9億8,467万円	町 税	自主財源 (21.8%) 21億2,066万円	義務的経費 (52.5%) 50億9,396万円	人件費	18億7,545万円	19.3%	
0.5% 4,773万円	分担金及び負担金						
1.7% 1億6,693万円	使用料及び手数料			扶助費	1億1,304万円	1.2%	
0.2% 2,036万円	財産収入						
8.4% 8億1,760万円	繰入金			公債費	9億7,879万円	10.1%	
0.9% 8,337万円	その他の収入						
3.1% 3億0,270万円	地方譲与税	依存財源 (78.2%) 75億8,934万円	投資的経費 (11.2%) 10億9,186万円	普通建設事業費	10億9,183万円	11.2%	
3.0% 2億9,370万円	各種交付金			内 補助事業費	1億1,304万円	1.2%	
53.2% 51億7,000万円	地方交付金				単独事業費	9億7,879万円	10.1%
						災害復旧費	3万円
			物件費	12億7,521万円	13.1%		
			維持捕集費	7,784万円	0.8%		
			補助費等	10億4,913万円	10.8%		
3.2% 3億1,314万円	国庫支出金		その他 (36.3%) 35億2,418万円	投資及び出資金	160万円	0.0%	
7.7% 7億4,710万円	県支出金			積立金	5,687万円	0.6%	
7.9% 7億6,270万円	町 債 (借金)			繰出し金	10億2,353万円	10.5%	
				予備費	4,000万円	0.4%	
歳 入			歳 出				

20年度4月から

なにがどうなる

おもなもの

理事職が1名に・・・病院対策、プロジェクト担当に。
企画課調整係りが、企画定住係りに・・・定住対策、企業誘致を専門に。
油木情報センターが本庁企画課に・・・情報の収集などホームページ、広報の充実を。
教育委員会2課が1課に・・・教育課（学校教育係、生涯学習係。）
教育委員会教育課に理事職配置・・・中央公民館長を兼職。
公民館の分館が廃止される・・・4地区公民館体制に。（公民館職員は支所町民係へ配置。）
ふるさとふれあい事業の縮小・・・補助金が、3,200万円から2,000万円へ。
ふるさとふれあい事業へ敬老会開催経費を上乗せ・・・該当者へ1,000円。
町地域公共交通会議の発足・・・地域交通体系の見直し。
福祉タクシーが本格運行・・・担当課は福祉課に移動。
教養立町神石高原の提唱・・・読書週間の制定（年3回程度。）
水源の里維持再生事業の新設・・・限界集落は水源の里だ。アンケート調査、啓発など。
井関定住団地開発事業開始・・・調整池造成工事から。
和牛の里団地発足・・・油木広島牛改良センター跡地に。
後期高齢者特別会計の新設・・・制度の改正。
町民野球場（切田）のスコアボード運用開始・・・芝生の移植も。
町内中学校にAED装置を設置・・・5年リース。
神石高原町消防団定数の変更・・・800人から760人へ。

平成19年度補正予算

一般会計で1億1,854万円、特別会計で4,018万円減額され、それぞれ100億865万円、66億5,426万円となった。

ほとんどが、決算見込みによる増減です。

基金残高見込み

平成19年度末で、

総合計で、37億2,340万円

（内、財政調整基金が13億5,700万円）

平成20年度末で、

総合計で、29億450万円

（内、財政調整基金が9億6,400万円）

地方債（借金総額）残高見込

平成19年度末で、

総合計で、228億6,800万円

平成20年度3月1日現在の人口1万1,671

人で割ると195万9千円となります。

（平成20年度末で、209億6,500万円の

見込みです。）

パソコンの管理は

木野山 サポート切れでパソコン50台の更新とあるが、単価は、個人の所有か、セキユリティはどうか

総務課長 単価は入札で決定。個人所有のものはない。情報センターを中心としたウィルスチェック、ウイニー管理をセキユリティポリシーにて実施している。

町内一体化イベント、今年はどうする

木野山 町内一体化イベントに226万円が予算化されているが今年の取組は

企画課長 今年は豊松の順番で、まちづくり実行委員会と地元の実行委員会

とで協議していただいている。巡回バス、紹介ボスターラジオ新聞などのPR、各種景品代、消耗品を予算化している。経費は抑える方針です。

コミュニティ施設管理経費が減額だが

木野山 一律10%程度の減額となっているが

企画課長 電気代、清掃経費など節約をお願いする。

木野山 コミュニティ施設は指定管理者制度になりむのか。使用料は条例で決まっている。自治会にメリットはあるのか。経費の切り詰めで地元負担ばかり押し付けるのでは。

企画課長 地域へ特化された利用を想定すると地元へお願いするのがベタ



1。一年間検討する。メリットは、一定の制約はあるが、地元の皆さんに自由に使って頂けることです。

福祉タクシー運行は

木野山 本格運行となりました。試行運行で問題点は解決されたのか

企画課長 利用者の数、利用方法など定まってきた。現状で対応出来る事が判明したので福祉課担当で本格運行とした。

敬老会の開催は

木野山 敬老会開催経費594万円を、何故ふれあい事業予算から負担するのか。町の主催に統一して一般予算化すべきだ。

総務課長 平成20年度は、4地区敬老会対象者に1,000円をふれあい予算に上乘せる。

敬老会のあり方の統一が出来たら、一般財源化する。

福祉課長 旧町村の伝統文化があり統一出来ない。出来れば町の直営方式ではなく、いわゆる油木方式(実行委員会方式)での統一を考えている。

木野山 敬老会は長寿のお祝いと地域のために尽くされた事への町を挙げて感謝の意を表する式典を行うことが重要だ。地域方式は高齢化など

限界もあり長続きしない。町の直営方式に統一しサービスの標準化を図るべきだ。

福祉課長 より良い方向に調整する。



保育所賄い材料は

木野山 保育所の食材調達はどうされているか。中国野菜・冷凍食品はないか

福祉課長 以前から、地産地消で安全で安心な食事に努めている。地元商工会や地元産品を利用し冷凍食品を直接仕入れ使用することはない。どの保育所も今回の事故に該当する中国冷凍食品は使用していないかった。

消防団員の定数を確保せよ

木野山 消防団員は地域防災の要であり、町のあらゆる分野での実働隊でもあり活性化・元気の源である。町の考えは

総務課長 努力してきたが、少子高齢化で現実的に団員の確保が困難になってきた。経費面から団員定数で支出するものも有るので経費節減の意味からも団員定数を760名にする。

木野山 消防団員であることは崇高な誇りの持てる職業だ。町を挙げて意識の高揚に努め、団員の減少に歯止めをかけ、800名を確保すべきだ。

総務課長 新定数は確保できる取組をしたい。

新年度予算の目玉は

木野山 任期最後となる平成20年度予算を、広い視野をもって「泰然自若」の精神で全うしたいとの事ですが、新年度予算の「目玉は」何ですか。

町長 財政改革と町の将来の発展につながるもの二本立て。繰上償還と和牛の里、農業生産法人化、畜産、米、ぶどう、トマトの振興、広島森づくりなど産業の振興。

制度・組織の見直しとは

木野山 予算大綱に「情勢の変化に対応できる町財政基盤を構築するために、制度・事業内容の見直し」「スムーズな行政運営が図れる組織の見直し」とあるが具体的に。

・教育委員会の課・係の統合、公民館体制の検討など。

木野山 事業の清算が遅れるなどお役所仕事の域をまだ出ていない。事務事業の中身の見直しが必要だ。

町長 制度の見直しは補助制度の縮小・廃止など長年の経過で不透明なものの洗い直し。組織の見直しは、3つの過剰の課題を克服しスリムな体制をつくる。職員数の減による支所

副町長 是正はしているが、まだ不十分な点もある。問題点を整理し指導する。

木野山 省けるところは省いた事務執行も必要だ。

公民館の分館廃止で公民館活動はどうなる

木野山 分館の廃止でこれまで公民館活動は保証出来るのか。

教育長 地区公民館の支援体制を充実する。専任の中央公民館長を配置し今までの公民館職員を支所に配置し自治振興会との連携を図りながら重点的に実施できる体制を作る。

木野山 三和の来見ふれあいプラザと高蓋さんわ総合センターはどうなるのか。

教育長 子ども放課後教室など地域の公民館活動は、分館として予算化していたので今までどおり、その中で予算化し支援する。

自主防災組織の充実は

木野山 地域を守るため「自主防災組織」への取り組みが成されているが今後の方針は。

町長 23自治振興会で組織され組織率は81%だ。「自らの町は自らで守る」という崇高な精神とその重要性を理解され、推進されていることに感謝している。各種情報の提供、消防団、後援会との連絡調整研修会の開催など行政面から対応・支援する。

の方への対応などには自治振興会、班単位での自主防災組織の救助活動が一番有効だ。全町組織化へ早急に取り組み。予算化は。

総務課長 財源は、ふれあい事業補助金や建設課の草刈り補助金など活用してほしい。

木野山 活動中の万一の事故発生時の保障は。

総務課長 基本的には消防保険対応となるが、良く研究し対応する。

町長の政策判断の範疇だ。早急に決断を。

町長 財源や加入率の問題があるが、期限が迫っており早急に検討し、間違いない選択をしたい。

CATV事業を早急に

木野山 多くの効果をもたらす「CATV事業」への取り組みは

風に乗って

実質的には、5・4%の減となる緊縮予算となりまして、たが、合併後4年目にしようかと、

新町の「夢」を託した新規の事業が本格的にスタートする年度になりました。井関定住団地、和牛の里団地開発、教養立町の提唱、高原の特色をもった農産物の特産品の開発・推進、水源の里提言、などありますが、いずれも長町の言われる町の将来の発展につながる事業と思います。

12月一般質問でも提案しましたが、ケーブルテレビ事業への取り組みも今後の町の命運を賭ける事業だと思います。

県病院とCATV。異なる二つの案件ですが、どちらも将来の町にとっては無くては成らぬもの。町長に、間違いない選択を、期待しています。